

矢賀 学区だより

第427号 (毎月1回)
平成30年12月 1日
編集発行
矢賀学区連合町内会
矢賀学区社会福祉協議会

ふれ愛・イン・やが

十一月十日(土)、矢賀小学校にて、第21回『ふれ愛・イン・やが&防災フェア』が開催されました。

地域の皆様、小学校 PTA などから構成するふれあい推進委員会を中心に、矢賀地区の皆様にご喜んでいただけるような企画を考え、準備し、毎年この時期に行っておりま

す。

今年のおープニングセレモニーは広島瀬戸内高等学校吹奏楽部の演奏から始まりました。はじめは静かだった子供たちも、「USA」や「それいけカープ」など一緒に踊ったり歌ったりするうちに緊張がほぐれた様子でした。毎年恒例の全校児童による合唱は、矢賀小学校の先生全員による「先生バンド」の伴奏で行われ、キーボードを演奏する校長先生や、木琴を演奏する教頭先生、ギターやドラムなどを演奏する担任の先生たちを見て、子供たちが大興奮で歌っていたのが印象的でした。

地域団体、PTAによるふれあいコーナーは、どのブースも大変盛り上がり、予定していた人数以上の子供たちが来てくれました。二葉中学校からは十数名の生

徒さんがお手伝いのボランティアに来て下さり、地域の方から中学生へ、中学生から小学生へ、という心温まるふれあひもたくさん見られました。

自主防災ブースでは、七月の西日本豪雨での矢賀地区の被害や避難の様子、その後の防災訓練の写真展などを興味深く見られる地域の皆様が多くおられました。

体育館でのスポーツアトラクションは雪合戦が大人気で、終了時間になってもまだまだやりたいという子供たちがたくさんいました。

体協、女性会による食事ブースにも多くのみなさまが来られ、お友達同士で嬉しそうに食事する子供たちの笑顔がありました。

今年度からは矢賀小学校の協力により、6年生が運営側にまわるという新しい試みもはじめました。食事スペースの片付け、ブースのお手伝い、会場の設営、片付けなどを担当してもらいましたが、自分の担当以外にも出来る仕事を探して手伝う姿があちこちで見られ、さすが6年生だなと感じました。

この催しを通して、子供たちは矢賀地区の皆様とのつながり、地域の皆様に支えられながら成長していることを再認識したと思います。また、保護者の皆様や

地域の皆様は、矢賀の子供たちが『やさしい子』が『がんばる子』としてすくすく育つてくれていることを実感したと思います。

今後もこの『ふれ愛・イン・やが&防災フェア』が矢賀地区の皆様の大切なふれあいの場になりますよう、ふれあい推進委員会では反省点を改善しながら引き継いでいきたいと思ひます。

最後に、皆様のご協力により無事に開催できましたことを関係者一同、心より感謝いたします。



先生バンドの演奏で児童合唱

ふれあい推進委員会

委員長 吉田健二

ポランティアバンク

年末・年始のカレンダー

矢賀学区社会福祉協議会のポランティアバンクは、年末年始のカレンダーを次のようにいたします。

※年末・年始カレンダー※

	日	月	火	水	木	金	土
12月	2	3	④	5	6	7	8
	9	10	⑪	12	13	14	15
	16	17	⑮	19	20	21	22
	23	24	⑳	26	27	28	29
	30	31					
1月			1	2	3	4	5
	6	7	⑧	9	10	11	12

(注)○=従来どおり派遣申込受付
/ =バンクと作業は休みます(網掛け)

ポランティアバンクは、次の支援活動を展開しています。

- 一、ゴミ出しの手伝い
 - 二、庭の草取り
 - 三、電燈の交換
 - 四、話し相手や相談
- どうぞ利用して下さい。

毎週火曜日10時～11時30分

矢賀学区社会福祉協議会

ポランティアバンク係

矢賀中央集会所(285) 8163

矢賀学区グラウンドゴルフ

同好会からお知らせ

矢賀学区グラウンドゴルフ同好会では、成人以上の会員を募集しています。

練習場所は矢賀第一公園で、毎朝七時から公園の清掃活動を行い、その後ラジオ体操、七時二十分からグラウンドゴルフの練習をしています。(雨天の時は中止)

年会費二千円です。ご希望の方は左記までご連絡下さい。

矢賀学区グラウンドゴルフ同好会

代表 石田 晶久

☎(283)8932



ラジオ体操

小学校だより

十一月五日(月)～十日(土)は「学校へ行こう週間」でした。この週間を使って、学校では、様々な行事を計画しました。

六日(火)は、J.R.西日本の方をゲストティーチャーとして招聘し、踏切教室を行いました。一・二年生が、遮断機や緊急停止ボタンの模型などを使って、実践的な体験学習を行いました。

八日(木)は、六年生が感動体験学習で尺八と琴の体験をしました。尺八は、音を出すまでが大変でしたが、琴は、短い時間の中で曲が演奏できるようになっていました。

九日(金)は、観劇会で、広島交響楽団の演奏を聞きました。すばらしい演奏を生で聞くことができ、児童も感動していたようでした。特に盛り上がったのは、指揮者体験です。児童の指揮どおりに演奏が速くなったり遅くなったり、大きくなったり、小さくなったりして笑いの中にも指揮者の大切な役割を感じ取ったようでした。

十日(土)は、二十一回目を迎えた

「ふれ愛・イン・やが&防災フェア」が行われました。子どもたちのために一年間かけて保護者、地域の方々が準備してくださる行事です。今年度は、六年生の児童もお手伝いをさせていただきました。最高学年として主体的にこの行事に参加してくれたことを本当にうれしく思っております。また、児童合唱の伴奏を今年は先生バンドが担当しました。矢賀学区連合町内会会長 大田様はじめ、たくさんの地域のみなさんからお褒め頂き、やつてよかつたなと思っております。

今年二十一回目を迎えた「ふれ愛・イン・やが&防災フェア」ですが、この行事がこれだけ長い期間続いていることは、本当にすばらしいことだと思います。地域・保護者・学校・各種団体の連携がこれだけ継続できる矢賀のよさを改めて感じました。

十二月の行事

- 3日(月)なわとびウィーク
- 6日(木)委員会
- 9日(日)文化の祭典(音楽の部)
合唱の部に3年生以上
有志六十一人が参加
- 10日(月)ぴかぴか週間

- 14日(金)全体研修会
- 19日(水)心の劇場(六年生)
- 20日(木)教育相談
- 21日(金)学校朝会 給食終了
- 25日(火)冬季休業開始

一月六日(日)まで



広島交響楽団の演奏

幼稚園だより

広島市立矢賀小学校
校長 原 徹

「シンボルツリー」

どの学校や幼稚園にもシンボルツリーと言える木があります。矢賀幼稚園のそれは、東門横のサクラとイチヨウの木でしょうか。

春にはサクラが、子供たちの入園を待ちかねたように小さな花びら

を開き、それと競うように、イチヨウが小さな小さな新芽をつけます。イチヨウは太古からその姿を変えていないようですが、新芽もあの独特の形がそのまま、枝に巻き付くように集まって芽吹く様子は、さながらこれから園生活を送る園児の姿に重なるようです。

春、夏と二つの季節を経て秋が訪れ、その深まりとともに、この二本の木はその装いを変えていきます。

春の目覚めの時間差そのままに、サクラはその葉を一足早く紅く彩り、鮮やかな色を残したまま名残惜しそうに一枚一枚落としていきます。イチヨウは、それを確かめたかのようになり、全身を黄金色に変え、葉をヒラヒラと落とし始めます。

園児達は、これらの色づいた葉を大事そうに拾い集め、秋の遊びを楽しみます。ある時はままごとのお皿に。ある時は髪に飾って。時には、お金や切符の替わりに。

イチヨウが一斉に葉を落とす頃には、それを集めて束にし、嬉しそうに友達や先生に見せる姿があります。先生に、赤いリボンで結んでもらうと立派な花束になります。

四季の移り変わりを肌で感じとる感性を育みたいという私たちの願いが、この二本のシンボルツリーには届いているのでしょうか。

地域の方の温かさに包まれた「ふれ愛・イン・やが&防災フェア」も終わり、いよいよ幼稚園も冬支度です。温かい部屋で、素敵な時間が過ごせますように。もうすぐすべての葉を落とす二本のシンボルツリーが見守ってくれることでしょう。



イチヨウと新幹線。
矢賀幼稚園らしい風景です。

十二月の行事

- 11日(火)わくわくランド
- 13日(木)もちつき

うさぎルーム

広島市立矢賀幼稚園

園長 井筒 敦子

児童館だより

十一月十日の「ふれ愛・イン・やが&防災フェア」では「カローリングたいけん」を企画しました。

ピョンチャンオリンピックピックで、「そだね〜」のセリフで一躍有名になった競技の床本版です。ルールはほぼ同じで、違うのは、氷の上ではないので、ブラシでゴングシ・・・ができないだけです。中区スポーツセンターから道具をお借りし、2レーン用意しました。そして、2名×4名でチームを作り、点数を競いました。初めて体験した子どもがほとんどでしたが、オリンピックの効果なのか、さほど説明する必要もないほど、みんなゲームを理解している様子で、スムーズにゲームは進んでいきました。

簡単そうに見えても、なかなか真直ぐに進まず、力の入れ具合も微妙にコントロールが必要で、オーバーラッシュしたり、味方に当ててしまったり・・・初めてだったので、作戦会議、とまではいきませんでした。最後に競技者で点数を確認して、喜んで残念がったり・・・とても楽しそうでした。

(次頁へ)

レーン数のこともあり、一人、一ゲームしか体験できないことになっていましたが、最初におとずれた4年生はその後も来館し、ゲームを楽しんでいました。付き添いでこられた保護者の方も、面白そうと一緒にゲームに参加してくださいました。初めての試みでしたが学年を問わず楽しんでもらえたようです。

来年もまた、何等かの機会に企画していきたいと思っています。

十二月の行事
8日(土)クリスマスお楽しみ会
20日(木)オセロ教室



広島市矢賀児童館
館長 大濱 美保子

保健師です



こんにちは
冬の気配を日増しに感じる今日この頃ですが、皆さん、お元気ですか。寒くなると、「お鍋」の季節ですね。「お鍋」は、夕方遅く帰る私にとつては、この上なく簡単な時短料理です。皆さんのご家庭でも「お鍋」の日が増えてきているのではないのでしょうか。

お子さんたちは「お鍋」が好きですか。我が家の子どもたちは、鍋はおかずにならないと不評です。「お鍋」を食べて、納豆や海苔でご飯を食べる、といった状況です。そこで、今回は「おかずになるお鍋」と題して、地域支えあい課中村管理栄養士に「子ども向けするお鍋」を紹介してもらいましょう。

はじめまして。管理栄養士の中村です。「お鍋」はいろいろな食材をバランスよく摂れるとともに、体も温まるのでこれからの季節にもってこいです。風邪から身を守るために必要なたんぱく質やビタミン、不足しがちなミネラルや食物繊維を摂ること

ができます。また、家族や友人と一つの鍋を囲むことで、会話ははずみますね。

大人は水炊きを好む方が多いですが、子どもはあつさり味のお鍋では、苦手な野菜は食べにくいものです。トマト鍋、カレー鍋、ちゃんこ鍋、豆乳鍋など、子どもの好きな味つけのお鍋はいかがでしょう。か。トマト鍋はコンソメ味にトマト缶・ケチャップで、カレー鍋は和風だしにカレールー・しょうゆ・みりん、ちゃんこ鍋は鶏がらスープにしょうが・んにく・塩

で、豆乳鍋は和風だしに豆乳・塩・こしょうで味つけします。子ども受けするウインナー、肉だんご、ぎょうざ、もち巾着、焼いたもちなどの具材を入れてみるのもおすすめです。

また、味がワンパターンになると飽きてしまい、締めのおしやまで間が持ちません。途中、バターやとろけるチーズをトッピングしてみましよう。味に変化が出ますよ。

お子さんと一緒に買い物に行つて、具材を探してみましよう。普段使われないような意外な具材に新しい発見があるかもしれません。

「わが家自慢の鍋」を囲み、団らん

を楽しんでください。

東保健センター地域支えあい課

☎082(568)7729

保健師 檜崎 尚子

社会福祉協議会へ

温かいご寄付

ありがとうございます

◎去る十月十三日、矢賀一丁目の大田正喜様がご逝去になりました。

この度、長女 大田浩子様から生前何かとお世話になったお礼にと、金一封を本会にご寄付いただきました。

◎この度、矢賀女性会会長 植木 トミ様から快気祝いとして、金一封を本会にご寄付を頂きました。

厚くお礼申し上げます。

ご寄付いただきましたご芳志は、町内の住民福祉のため有効に使用させていただきます。

矢賀学区社会福祉協議会

会長 山本 和登